

## 証券決済制度改革の推進のための ワーキング・グループの設置について

平 1 2 . 1 2 . 8

### 1. 設置の趣旨

わが国証券決済の T+1、DVP への移行に向けた証券決済制度改革の基本方向が固まりつつある。今後、同制度改革を円滑に推進するためには、市場関係者に決済制度改革の意義・必要性等に関する認識が共有されるとともに、その全体像観に基づいて計画的に実行していくことが重要である。併せて、制度改革の効率的な推進を図るためには、いわば司令塔としての役割を担う組織を置き、整合性を持って制度整備の進行をフォローアップすることが必要である。

そこで、証券受渡・決済制度改革懇談会の下に「証券決済制度改革の推進のためのワーキング・グループ」を設置し、制度改革の全体像、スケジュールなどについて共通した認識の構築と制度改革の推進を図ることとする。また、ワーキング・グループの検討に当たっては技術的、専門的な調査をコンサルタント会社に委託する。

### 2. 検討事項

- (1) 決済制度改革の全体像、スケジュールイメージ及び対応するインフラ
- (2) 決済制度改革のコスト及びベネフィット分析
- (3) 制度整備推進のフォローアップ

#### (注) 検討の視点

- (1) T+1、DVP の推進に係る検討を行う。(市場関係者、コンサルタント・スタッフにより基本コンセプトを作成し、それに基づき調査を行う。)
- (2) T+1、DVP を実現するため、有価証券のペーパーレス化、証券取引関係の帳票類の電子化、有価証券の機構預託促進を阻害する諸制度の改正、清算機能の拡充策等について検討スケジュールと分担先等を明確にして検討を進める。

### 3. ワーキング委員の構成

メンバーは広く市場関係者によって構成する。事務局は日証協に置く。また、専門的な知識が必要であるので、コンサルタント会社を活用する。

### 4. 検討期間

当面、期限を設けずに設置する。なお、コンサルタント会社へ依頼する調査の仕上げについては平成 13 年前半(早い時期)を目途とする。

以 上

## 証券決済制度改革の推進のためのワーキング・グループ

平成15年5月13日

座長	神田 秀樹	(東京大学 法学部 教授)
座長代理	吉田 聡	(大和証券 エスエムビシー 経営企画部 次長)
委員	荒木 俊彦	(横浜銀行 事務統括部 グループ長)
"	安藤 淳一郎	(日立キャピタル 財務部 企画グループ 主査)
"	石谷 厚志	(大阪証券取引所 東京支社 総合企画本部 チームリーダー)
"	岩永 守幸	(日本証券クリアリング機構 企画業務グループ 審議役)
"	神澤 澄男	(UFJ つばさ証券 資金証券決済部 部長)
"	木村 浩一	(大和証券投資信託委託 経営企画部 部長)
"	小柳 志乃夫	(みずほコーポレート銀行 証券部 次長)
"	斉藤 宗孝	(証券保管振替機構 企画部 次長)
"	杉江 直樹	(住友生命保険 運用リスク管理部証券管理室 室長)
"	鈴木 康史	(東京証券取引所 決済管理部 シニアマネージャー)
"	曾我 一彦	(UFJ銀行 決済業務部 次長)
"	巽 文夫	(住友信託銀行 証券業務部 主任調査役)
"	茅野 茂昭	(野村証券 総務企画部 次長)
"	寺田 尚之	(日本証券業協会 店頭市場部 課長)
"	徳本 進	(フィデリティ投信 計理部 部長)
"	戸谷 重之	(三井物産 財務部企画業務室 マネージャー)
"	中嶋 典子	(モルガン・スタンレー証券 株式管理部 エグゼクティブ・ディレクター)
"	橋本 信仁	(JPモルガン・チェース銀行 インバスター・サービスガイス・プレジデント)
"	牧 忠司	(東京三菱銀行 決済事業部 主任調査役)
"	水野 正	(八千代銀行 市場金融部市場営業課長)
"	横尾 賢一郎	(日本経済団体連合会 経済法制グループ長)
オブザーバー	山崎 晃義	(金融庁 総務企画局市場課 企画官)
"	一松 旬	(金融庁 総務企画局市場課 課長補佐)
"	始関 正光	(法務省 民事局民事法制管理官)
"	坂本 哲也	(日本銀行 信用機構室 調査役)